



# 子どもたちのわくわくしている姿が見たくて



きらりでは昨年2月から余暇活動の一環として、子どもたちの興味・関心を引き出し、一人一人が充実した時間を過ごすことができる事を目的に、クラブ活動(通称:きらクラブ)を取り入れました。

クラブ担当者にて「運動系」「制作系」の二つのクラブ内容を毎月検討し、子どもたちの意見も反映しながら日々進めています。

今回はその中でも、特に好評だったクラブ活動を紹介したいと思います。



## 【サッカークラブ】

定期的に使用させて頂いている堺市の広大なグラウンドに集まり、「よろしくお願いします!」とみんな元気に挨拶してスタートです。

サッカー経験のあるスタッフの指導の下、まずはサッカーボールに触れる・蹴ってみるなどボールに慣れるところから始め、サッカー経験のある児童は、パスやリフティング等の本格的な練習を行うなど、

個々の児童の段階に合わせて活動を進めています。

活動の終盤は、チームで協力する力を育むことを目的に試合形式で行い、中には負けてしまった悔しさで泣き出してしまふ児童もいますが、その悔しかった気持ちも次回への活力に繋げていけるよう働きかけています。

## 【ツールペイントクラブ】

木の形をした材木に、その季節に応じた風景を絵の具で自由に描いていきます。

普段からお絵描きが好きな児童はもちろん、あまり得意でない児童も興味津々でお友達が描いている様子を眺めにきて、今では事業所内に四季折々の季節感を出してくれる定番のクラブとなっています。



## 【クラブ活動が目指すもの】

すこしでも興味関心を引き出せるように、職員も子どもたちと一緒に全力で楽しむことで、「楽しそう」「わくわくする」といった雰囲気作りを意識的に行

## 2022年6月

い、子どもたちが主体的に参加できるように努めています。

平日の放課後は学校の授業や行事で疲れている児童もたくさんいます。クラブ活動が設定されていても、「〜しないといけない!」今日は〇〇の日!といった押し付けの活動にならないようにし、その時の児童の様子や一人一人の気持ちを尊重するようにしています。

職員体制により活動を進めるには様々な創意工夫が必要ですが、子どもたちのキラキラした笑顔を見ることができると、「次はこんなことしよう」と色々なアイデアが浮かんできます。

日々の些細なことからも、子どもたちの新たな一面を発見し、子どもたちの思いに気付いていけるような職員集団を目指して、今日も笑顔で「送迎に行ってきます!」

